

# 令和6年度西部保健医療圏（狭山保健所所管区域）難病対策地域協議会 概要

1 日 時 令和7年2月3日（月）午後6時30分～午後8時30分

2 会 場 埼玉県狭山保健所 大会議室

3 出 席 者

(委 員) 沼山貴也会長、伊藤哲副会長、小林治委員、宮川隆平委員、  
小穴慎二委員、大野康委員、今牧晋一委員、吉川温美委員、  
松本めぐみ委員、松原早知子委員、落合美穂委員、鷺谷恵里委員、  
岩崎真由美委員、宮武寛委員、泉田みどり委員、鈴木智子委員、  
天満葉月委員、樋口真也委員、辻村信正委員  
(委員19人全員出席)

(事務局) 狭山保健所

(傍聴者) なし

4 議 題

(1) 令和6年度狭山保健所管内の取組み状況について

ア 狭山保健所管内取組み状況

イ 管内市及び関係機関の取組み状況

(2) 令和7年度狭山保健所管内の取組み計画について

ア 難病対策地域協議会の歩み

イ 難病対策地域協議会の取組み計画（案）

(3) 意見交換

5 協議概要

令和6年度協議会取組み計画に沿い、目標としていた公助力と自助力のバランスの大切さと、自助力アップのための情報発信について各機関から取組み成果を報告した。

公助力アップに向けては、発災時の役割を関係機関で深めるための取組みや、対象者の全数把握に努めたことについて報告があった。

災害時情報伝達力アップに向けては、勉強会を実施した市があったほか、情報発信手段の多様化を図ることや、情報集約体制を整備し市内連携の在り方を具体的に調整していると2市より報告があった。

自助力アップに向けては、避難行動要支援者登録のPRについて各市の工夫を共有した。非常用電源は令和6年4月より各市において日常生活用具として助成を開始し実績ついて報告があった。また、災害時個別支援計画の様式の見直しや計画作成、各市で実施している防災イベント・避難訓練の実施について報告があった。

難病児者の災害対策の推進と実現化に向けた今後の取組みについて意見交換し、オールブラックアウト下を想定した対策や取組み、継続した避難訓練の必要性、実際に災害が発生した時の体制の確認と今後の課題を共有した。また、自助として備えることと地域が出来ることを意識付けした活動や平時からの取組みの大切さを共有した。

以上を活動成果とし、協議会として来年度以降も活動を推進し、取組みを重ねていくことを確認した。令和7年度に向けた取組み方針は意義なく了承された。

6 会議資料

資料1 狭山保健所管内の状況

資料2 狭山保健所の取組み

資料3 【管内市】令和6年度難病患者・医療的ケア児への災害時支援状況

資料4 【管内市】医療的ケア児者に向けた取組み

資料5 【行政機関以外】難病患者・医療的ケア児への災害対策取組み状況

資料6 西部保健医療圏（狭山保健所所管区域）難病対策地域協議会の歩み

資料7 西部保健医療圏難病対策地域協議会の取組み計画（案）

参考資料1 関係法規関係のまとめ

参考資料2 管内市地域防災計画書抜粋

参考資料3 災害時の時系列に応じた難病患者の課題と各機関の役割